

有明海・八代海の 自然環境・社会環境の 再生・創生を目的とするシンポジウム

2016年12月24日 益城町平田地区復興フットパス

平成30年

1月7日[日] 14:00~16:30

くまもと県民交流館パレア 9F 会議室1 (熊本市中央区手取本町8-9)

入場無料
当日参加可

地震前後の自然環境・社会環境の変化から 大学・行政・社会の連携を考える

熊本地震は様々な災害・被害を私たちにもたらし、現在もなお熊本県は復興の最中にあります。地震が私たちの生活・環境にどのような変化をもたらしたのか、今ここでもう一度整理をすることで、今後の復興や将来の災害対策のための知恵を探索します。今回は4人の演者が熊本地震前後で変化した科学的・社会的現象を対象に、研究や社会との関係がどのように変化したのか、特に行政や市民との協働に着目し、話題提供を行います。また後半の公開討論を通して、今後の復興や将来の災害対策に有益な知識や連携を行政・市民の意見を交えながら議論します。

お名前・参加人数・ご連絡先を明記の上、
下記EメールまたはFAXでお申込みください。

【お申込先】Eメール:ftakeshita@gpo.kumamoto-u.ac.jp
F A X:096-342-3510

【お申込期限】2017年12月22日[金]17:00まで

【お問合せ】熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
TEL:096-342-3498

主催:熊本大学 文部科学省特別経費プロジェクトグループ
共催:熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター

プログラム

13:30 開場、受付開始

14:00 挨拶 逸見 泰久 (熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)

第1部 話題提供

趣旨説明: 田中 尚人 (熊本大学 熊本創生推進機構 政策創造研究教育センター)

- 1 熊本市沖有明海で見つかった海底活断層：
安心安全な沿岸社会へのインパクト
秋元 和實 (熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)
- 2 熊本地震後、大学が地下水を調べるのには理由(わけ)がある
中田 晴彦 (熊本大学大学院 先端科学研究部(理))
- 3 熊本に歩く文化を創るーフットパスの役割の展開ー
井澤 るり子 (フットパス研究所)
- 4 熊本に歩く文化を創るー「歩く」ネットワークづくりー
清水 英伸 (熊本県 企画振興部 地域・文化振興局 地域振興課)

第2部 公開討論

熊本地震で何が変わったのか?

モデレーター: 田中 尚人

討論者: 話題提供者および参加者

大学と行政や市民団体との協働について、会場からも質問を交え話し合います。